

チーム支援により、補助金を活用した基幹業務のIT化が大幅前進！

株式会社丸亀給食センター（香川県）

昭和39年に事業者向けの産業給食事業を設立、その後高齢者向け配食業務に参入した事業者。

1. 相談のきっかけ

・相談者は、平成26年度ものづくり補助金にチャレンジしたが、第1次申請は不採択であった。改めて第2次申請にあたり、他の支援機関から当拠点を紹介され、来所された。当拠点の中小企業診断士のSCOが対応するに至った。

・また、同時に、別な補助事業として採択されていた、HP作成業務についての進め方についても相談があった。

2. 課題整理・分析

・宅配弁当事業では、一般食、医療食の2分野がある。一般食は高齢者向けと若者向け、医療食は、生活習慣病対応で4種類取り扱う。

・多様な弁当の注文、作成、配送が、ほぼ紙ベースで管理しているため受発注などのミスが発生している。そのため事業者は補助金を活用してCTI(注1)利用の基幹管理システムを導入し、ミスの軽減・業務効率化を目指している。

⇒ものづくり補助金の第1次申請の状況を確認したところ、現状の問題点について多く記載しすぎていて、課題の整理・解決がわかりにくいと指摘があった。よって、第2次申請に当たっては、事業の考え方を整理し、その上で申請書類を作成する必要がある。

⇒またHP作成については、デザインやコンテンツ整理が必要と判断。

3. 解決策の提案

各課題に対し、SCOがチームを編成し支援を実施。

・第2次申請に当たり、業務全体の流れを図示化する等、一度分かりやすく整理することを提案。その上で、新たに導入する設備が、今後の事業計画の柱となるように記入することなど、具体的な指導を行った。

・ウェブデザイン担当のSCOが目的に沿ったデザインやコンテンツ、写真を揃えること、他社のHPで気になるものを選定することをアドバイスした。

4. 成果

・アドバイスによりものづくり補助金は採択となり基幹システム導入の作業がようやく緒に就いた。また、HP作成についても基本設計や素材収集が進捗し、構築作業を円滑に進めることができています。

・同社にとってはコンピュータ基幹システム導入は初めてであったことから、システム開発推進についての相談が現在拠点に新たに寄せられた。しかし相談がある都度、ITやシステム開発に経験豊富なSCOが、①システム開発プロジェクトの固有の特性、②システム開発委託契約書締結における留意点、③委託先との交渉の勘所、④社内に対応すべき必要事項の整理、⑤導入後保守を委託する際の留意点等、システム開発の具体的な進め方についても、過去のトラブル事例などを引き合いに出しながら助言を実施。

・こうした助言の結果、現在、2社から開発に係る見積提示を受け、基幹システム導入に向けてスタートを切ることができた。今後も適宜、よろずのチーム支援を受けることで円滑なシステム導入が見込まれる。



医療食(低たん白食)



高齢者食



注1:CTIとは、電話やFAXをコンピュータシステムの一部として統合した情報システムを指す、上図は概念図